

2015年3月15日(木)放送 総合19:30~20:43  
のんびりゆったり路線バスの旅 男前ふたり旅スペシャル  
～海の神 山の神 宮崎・日南 長野・南信州～

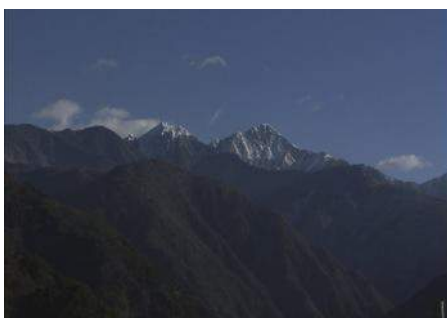
【お問い合わせ情報 長野・南信州 山の神チーム】

■ 番組概要

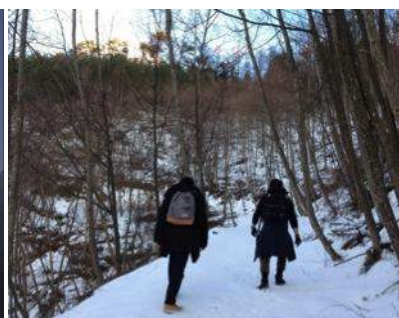
長野県の南信州を旅したのは、俳優の松田悟志さんと内田朝陽さん。2人が目指すのは神々の里と呼ばれる遠山郷。松田さんにとっては2013年の秋に訪れた懐かしい場所。紅葉の季節を旅した松田さんは、遠山郷で出会った人から「冬に来ると山の暮らしがもっとわかる」と言われたことを思い出し、再び訪れることに。すると「神様がお風呂に入りにくる」という伝説に出会い、天空の里と呼ばれる絶景の集落では暮らしに根付く神々にも出会いました。自然の恵みに感謝することを知り、人々のあたたかさに触れた2泊3日の旅でした。



松田悟志さん 内田朝陽さん



南アルプスに囲まれた遠山郷



天空の里へ

■ 旅のルート【バス旅1日目】

(1) 飯田駅～交流センター(信南交通)所要時間約30分

(2) 交流センター～一本木(喬木村民バス)約20分

旅の始まりは飯田駅。松田さんの旅のパートナーは「朝陽ちゃん」と内田朝陽さん。まずは松田さんが会いたい人がいる喬木村に向かいます。喬木村の中心部で下車。天気が良く青空が広がっていましたが、この時の気温はマイナス5度。とても寒い朝でした。

喬木村が運営する村民バスに乗り継ぎ、以前の旅で出会ったりんご農家のご夫婦を訪ねます。



2013年の秋 りんごが最盛期だった喬木村



2015年の冬

秋に訪れた時は車窓から真っ赤なりんごを見つけて途中下車した松田さんでしたが、今回はすでに収穫が終わっていました。「一本木」のバス停で降り、りんご農家の宮内さんのお宅へ向かった松田さんと朝陽さん。りんごの匂いに誘われるように進むと、元気な静子おばあちゃんと再会。早速、りんご農園でおばあちゃんのお手伝い。木に残した色付きの悪いりんごを落とし、春を迎える準備をするそう。背の高い松田さんと朝陽さんはこの作業にはぴったりでした。



お手伝いのご褒美に、初冬に収穫されたりんごをいただいた2人。蜜がたくさん入ったりんごに「うますぎる」を連発。「うまい」の最上級の表現だそうです。90歳の富人おじいちゃんも元気に2人を迎えてくれました。おじいちゃんが被っていた毛糸の帽子は、常連のお客さんからプレゼントされたもの。甘いりんごだけではなく、明るい宮内さんご夫妻に会いたくてやってくる常連さんが多いんです。富人おじいちゃん、静子おばあちゃん、いつまでも元気でいてくださいね。おいしいりんごをありがとうございました！

### (3) 一本木→学校前(信南交通)約40分



路線バスに再び乗り込み、さらに山の奥へと進んでいきます。松田さんと朝陽さんは車内で「冬の遠山郷には霜月まつりといって全国の神さまが集まってくる祭りがある」という話を聞きます。祭りは12月に終わっていましたが、遠山郷に「全国の神さまが集まる」ことに驚く2人。どんな祭りなのか…考えているとバスは4キロもある矢筈トンネルに入りました。このトンネルを抜けると、いよいよそこは神々の里、遠山郷。旅人のテンションもUP! と思いきや暗く長いトンネルで眠りに入ってしまった朝陽さん…何でも夢の中で神さまと交信していたとか。おいおい。



遠山郷で最初に訪ねるのは、天空の里と呼ばれる下栗集落。標高1000メートルの急峻な斜面に、およそ50世帯が暮らしています。「上町」で下車した松田さんと朝陽さん。下栗集落までのバスは週に2日だけ。この日は残念ながら運休でした。ということで、以前も歩いたことのある松田さんのリードで遊歩道を歩くことにしました。遊歩道はかつて生活の道として集落の人たちが使っていたそう。厳しい場所で生きてきた人々に思いを馳せながら、2.5キロの山道を歩きました。山に入ると道端にたくさんの石仏があることに気づいた旅人たち。山は多くの神様に守られていたんです。神様にグチばかりこぼしていた朝陽さんも、後半は記念写真を撮影するなど余裕がでていました。

※冬期や天候が悪い場合の遊歩道の通行は上村自治振興センターで安全を確認してください



1時間ほどで下栗集落へ到着。眼下に山々が見え、まさに天空の里です。松田さん、この絶景を朝陽さんに見せたかったんです。下栗集落がぼっかり浮かんで見える場所はさらにこの上へ。15分ほど山道を上ると地元の人が整備してくれた展望台があります。

※ 詳しくは遠山郷観光協会へお問い合わせください。

松田さんは、以前この下栗集落でお世話になった久保敷さんを訪ねることにしました。下栗で生まれ育った久保敷俊一さんは、奥さんと2人、毎日山の自然に感謝しながら自給自足に近い暮らしをしています。太陽が沈み始めると仕事は終わりにするという久保敷さん。松田さんと朝陽さんが到着した時は、久保敷さんはもう片付けをしていました。めずらしそうに大根を乾燥させて作った「凍み大根」を見る2人に、久保敷さんから「明日残りの大根で作るから手伝う？」とお誘いが！翌日8時15分に集合することにして、バス旅1日目が終わりました。

## 【バス旅2日目】



8:15分に下栗集落に到着するとちょうど太陽がのぼってきました。久保敷さんがこの時間を指定したのは太陽が出ないと作業ができないから。寒さが厳しい天空の里では、太陽の光がとても重要なんです。久保敷さんに教わりながら凍み大根作りにとりかかる2人。皮をむいて輪切りにし、茹でて干す。1ヵ月間、山の風と太陽の光を浴びさせ、凍結と解凍を繰り返してできるのが凍み大根。手間をかけてできた凍み大根は煮物にすると甘さが際立ち、絶品なんだそう。松田さんと朝陽さんは、作業の後に奥様が用意してくれていた凍み大根の煮物をごちそうになっていました。凍み大根作りを通して、自然の恵みに感謝する神様の里の暮らしを少しだけ垣間見ることができました。



(1) 下栗→上町(飯田市乗合タクシー)所要時間約30分・

(2) 上町→木沢(信南交通)約10分

下栗集落から山を降りる路線バスは乗合タクシー。週に2日だけなので、路線バスがない時はタクシーで麓の町まで行きます。松田さんと内田さんも路線バスがない日だったため、タクシーで移動。路線バスが走る上町でバスを待ちます。偶然出会った地元のおじさんに「霜月まつり」についての話を聞きますが、いいところでバスがやってきました。霜月まつりに心惹かれながら、次の目的地の木沢に向かいます。



松田さん、朝陽さんに車窓を注意して見ているようにアドバイス。すると「木造校舎」をPRする怪しい手書きの看板をいくつも発見。朝陽さんが気に入ったのは「木造校舎がおもしろい」の看板。松田さんが以前、この手書きの看板に誘われて訪ねたのが、木造校舎の旧木沢小学校。

卒業生たちが中心となり、地域で保存している木造校舎。学校はふるさとのよりどころだと考えているお父さんたちが毎日のように校舎に集まり、掃除や補修をして廃校になった校舎を守っているんです。松田さんと朝陽さんのサプライズ訪問も成功し、再会を喜ぶお父さんたち。昼間から乾杯となりました。そして松田さんとの再会を喜ぶ方がここにも…



学校に住みついているネコ校長ことタカネちゃん。木造校舎のアイドルです。学校に集まるメンバーの1人、前澤さんがタカネちゃんのお世話を毎日しています。みんなからかわいがられているため、やや肥満体。男前の2人にもモテモテ。松田さんからは愛情いっぱいの“ムギュー”。「モデルのも困るニャ〜」とストーブの側に避難していました。



校舎をまわりながら思い出話を聞き、松田さんと朝陽さんも小学生の頃を思い出していたようでした。この木造校舎は誰でもあの頃にタイムスリップできる、不思議な空間なんです。さらにお父さんたちが2人にぜひ見せたいと案内してくれた部屋がありました。そこはなんと、詳細を聞き損ねていた霜月まつりの資料館。祭り好きのお父さんたちが木造校舎の中に作った手作り資料館でした。祭りの1ヵ月前になるとこの場所で神楽の練習をしているそうです。

霜月まつりは毎年12月、この遠山郷の各集落で行われる湯立て神楽です。神様が湯治にくるといふ世にも不思議な祭り。全国から集まった神々、そして地元の神様に湯を差し上げ、1年の疲れを癒してもらうんです。村人たちも神様の湯を浴び、1年の汚れを払い、新しい年の五穀豊穡や健康を祈ります。厳しい自然のなかで生きてきた遠山郷の人々の願いが込められた祭りは、800年以上も続いてきたといわれています。今度は霜月まつりの時期に訪れたいと思う旅人たちでした。 ※霜月まつりの詳細は遠山郷観光協会へ

## 【バス旅3日目】

### (1)木沢→和田(信南交通)約15分

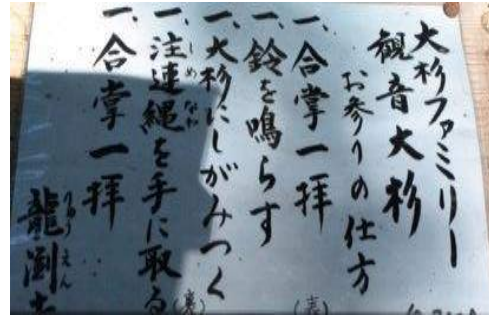
最後のバスに乗り、遠山郷の終点和田の町に到着した2人。旅のゴールは遠山郷を見守る大杉ですが、その前に町を散策することにしました。番組では紹介できませんでしたが、たくさんのお店になるお店がこの和田にはありました。松田さんと朝陽さんが惹かれたのがこちらのお店。雑貨屋さんなのかな?と思いながらお店に入りました。



店内には生活雑貨、文具、おもちゃ、アクセサリから五月人形まで!ご主人は「お客さんが必要だっていうものを揃えたらこんなになっちゃった」と笑う。遠山のデパートとも呼ばれるこのお店は、遠くに買い物へ行けないお年寄りや小さな子どもたちにとって大切な場所。体が続く限りはお店を開けるよというご主人。商品の数と同じくらい優しさが溢れるお店でした。

この後、松田さんは2013年の旅でバスと一緒に乗ったお母さんと偶然に再会。地域の宴会に行くというお母さんに連れられ、そのまま宴会に参加しちゃいました。バス旅ではこういう偶然の出会いがよく起こるから驚きです。宴会でみなさんに大歓迎された2人。バス旅史上初めてとなるカラオケまで披露してしまいました。和田のみなさん、楽しい時間をありがとうございました!

いよいよ旅も終わり。松田さんと朝陽さんは遠山郷を見守る大杉のもとへ向かいます。途中、朝陽さんが「こんなに楽しい旅ができたということは山の神様に受け入れてもらったということじゃないかな」と一言。素敵な言葉でした。樹齢500年、山の神様が目の前に現れたような大杉が旅のゴールです。



思わず抱きついたのでありませんよ。なんとこれが正式な参拝の方法なんです！  
朝陽さん、松田さん、しっかりと大杉からよい気をいただき、山の神様に祝福された旅は終わりました。



### **立ち寄った主な場所**

#### ■ 宮内りんご農園

※りんごについての問い合わせは喬木村産業振興課まで

電話：0265-33-5126

---

#### ■ 下栗の里（天空の里）

#### ■ 旧木沢小学校（都市山村交流促進施設）

#### ■ 龍淵（淵）寺の観音大杉 ※お寺では淵と淵の両方の表記を使用しています

遠山郷地域についての問い合わせは下記へ

遠山郷観光協会

電話：0260-34-1071

#### ■ バスに関する問い合わせ先

〔利用したバス〕

● 信南交通（乗合課） 電話：0265-24-0009

● 喬木村民バス（喬木村役場・企画財政課） 電話：0265-33-2001

● 飯田市乗合タクシー（飯田市役所） 電話：0265-22-4511

### **遠山郷の範囲**

遠山郷というのはどこからどこまでを指すかという定義はありません。遠山郷観光協会によると、南アルプス、伊那山脈に挟まれた谷の地域で、旧上村、旧南信濃村の地域を遠山郷とするのが一般的だとのこと。